

**『誰でもできるラグビー トライセットキャンペーン』
実施レポート**

学校名	美作市立大原小学校	実施日	平成 25 年 10 月 1 日～29 日
担当教員名	清水 裕介	実施学年・人数	3 年・29 名

学校・学級紹介	<p>本校は岡山県の北東部に位置する。学区は広く、近畿・山陰を結ぶ国道 373 号線、倉敷・福知山を結ぶ国道 429 号線、及び県道大原作東線が交わる。</p> <p>全校児童は 201 名。約 7 割の児童が 2 台のスクールバスで通学している。平成 22 年 4 月に、新校舎が完成した。</p> <p>3 年生は、男子 10 名、女子 19 名の計 29 名。体育は好きで、意欲的に運動することができる。休み時間には、鬼ごっこ、なわとび、サッカー、ドッジボールなどの遊びを楽しんでいる。</p>
実施内容	<p>まず、29 名を 4 チームに分けてタグ取りゲームを行った。</p> <p>次に、3～5 名で、走りながらのパス・キャッチ練習を行った。</p> <p>次に、オフェンスとディフェンスに分かれて 3 対 3 を行った。</p> <p>最後に、5 対 5 のゲームを行った。</p>
指導のポイント	<p>タグをつかむ感覚と、相手をかかわず感覚を養うためにタグ取りゲームを行った。</p> <p>チーム戦にすることで、協力して相手を追い込んだり、ポジショニングを考えたりできるようにした。</p> <p>楕円形のボールに慣れさせるため、パス・キャッチ練習を繰り返し行なった。</p> <p>動きながら行うことで、ボールや味方の位置を意識できるようにした。</p> <p>オフェンスとディフェンスに分かれて 3 対 3 を行った。時間で交代させることで、攻めと守りをより意識できるようにした。</p> <p>ゲームでは、グリッドコートを利用したり、チーム内で攻守の役割を交代させたりするなどして、どの児童も活躍できるようにした。</p>
感想・印象 今後の展望	<p>ドリブルがなく、ボールを持って走ることができるので、運動量を確保することができた。</p> <p>タグを取るための工夫や、取られないための工夫を、自分で考えたり、チームで考えたりすることもできた。これまでに、楕円形のボールを扱う経験は少なかったが、授業を行う度に、パスの精度が上がっていった。走ることがやや苦手な児童も、コート of 広さや人数を工夫することで、楽しみながら意欲的に活動することができた。得点の楽しさだけでなく、仲間と協力する楽しさ、作戦が成功した時の楽しさ、相手のタグを取って得点を阻止する楽しさなどを大いに味わうことができた。ボールを持っていない時の効果的な動き方の指導が十分とは言えないので、今後の課題にしていきたい。</p>

※コメント記入欄のスペースに制限はありませんので自由にご記入ください。また、他形式でのご提出でも結構です。

【お願い】

実施レポートは、今後小学校の先生方がラグビーの授業を行う際の参考にするとともに、学習教材としたラグビーの優れた点を広めることを目的としています。実施レポートの一部は、ラグビー協会ホームページや機関誌、制作物等でご紹介させていただきますので、公開可能な範囲でのご記入をお願いいたします。